

適用規格								
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +85℃（注1）	保存温度範囲		-10℃～ +60℃（注3）			
	使用湿度範囲	20% ～ 80%（注2）	保存湿度範囲		40% ～ 70%（注3）			
	適合コネクタ	DF57H-2S-1.2C(##) DF57AH-2S-1.2C(##)	UL・ C-UL 定格 △2	使用温度範囲	-35℃～ +75℃（注1）			
	適合端子	DF57-****SCF(##)						
	電 圧	AC/DC 50V		電 圧	AC/DC 29V			
	電 流	AWG26：3.0A/pin AWG28：2.5A/pin AWG30：1.5A/pin AWG32：1.0A/pin AWG34：0.8A/pin		電 流	AWG26：3.0A/pin AWG28：2.5A/pin AWG30：1.5A/pin AWG32：1.2A/pin AWG34：1.0A/pin			
性 能								
		試 験 方 法		規 格		QT	AT	
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○	
	表示	目視にて確認する。				○	○	
電 氣 的 性 能	低電圧、低電流下の接触抵抗	20mV 以下、1 mA（DC又は 1000 Hz）で測定する。		10 mΩ 以下		○	—	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		100 MΩ 以上		○	—	
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—	
機 械 的 性 能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗：20 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 20.0 N以下 引抜力 0.9 N以上		○	—	
	耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。		①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
環 境 的 性 能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）		①接触抵抗：20 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：100 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 →30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）		①接触抵抗：20 mΩ 以下 ②絶縁抵抗：100 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—	
	はんだ耐熱性	【リフローはんだ付けの場合】 以下の温度条件で2回のリフローを行う。 リフロー部：ピーク温度250℃ 10秒以内 220℃以上 60秒以下 予熱部：150～180℃ 90～120秒 【手はんだの場合】 はんだごて温度 350±10℃、3秒の条件にてはんだ 付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。		外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。		○	—	
	はんだ付け性	はんだ温度 245 ℃、浸せき時間 5 秒間の はんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだ でぬれていること。		○	—	
備考 （注1）通電時の温度上昇を含む。 （注2）結露のないこと。 （注3）基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。								
	△の数	訂正記事		設計		検図		年月日
△2	1	DIS-H-00005747		HK. HAYASHI		SZ. ONO		20200217
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。						承認	KI. AKIYAMA	20121001
						検 図	HK. UMEHARA	20121001
						担 当	TS. KUMAZAWA	20120928
						製 図	TS. KUMAZAWA	20120928
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目				図番		SLC-343904-23-03		
HRS	製 品 規 格 表			製品名		DF57H-2P-1.2V (23)		
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL666-0104-7-23		△2 1/1